

V F M評価に関するワーキンググループ報告書（案）の構成について

1. はじめに

報告書の趣旨、ワーキング委員名簿、ワーキング開催日時を記載

2. V F M評価の本質的な課題に関する議論の整理

これまでのワーキングの議論の整理（V F Mの基本的考え方）を踏まえて整理

3. 実務的課題

第5回ワーキング資料実務的課題解説案の枠囲いの解説案をベースに、第5回ワーキングでの議論、地方自治体・コンサルタントからの意見を参考に作成

1) 実務的な課題の整理

留意事項として、リスク調整のあり方及び間接コスト、取引費用の算定の仕方等について、今後検討を深めるものとして明記

2) P S Cの算定

設計費、建設費、維持管理・運営費

- ・全体につき簡略に分かりやすく再整理：ワーキング議論、コンサルタント意見
間接コスト

- ・設計費、建設費、維持管理・運営費全体に共通なものとして整理：ワーキング議論
資金調達コスト

- ・一般会計による調達にも一定のコスト発生：ワーキング議論

- ・見えざるコストについて検討が必要：ワーキング議論

3) P F I - L C Cの算定

- ・L C Cの間接コスト削除：ワーキング議論
資金調達コスト

- ・リスクが高いほど出資金等による調達の比率が高くなり・・・を削除：ワーキング議論、コンサルタント意見

- ・Quasi Equityにつき明記：ワーキング議論、コンサルタント意見
選定事業者の収益性

- ・P I R R、E I R R、D S C Rの記載を簡便に：ワーキング議論、コンサルタント意見

4) 割引率

- ・現在の市場金利に近い水準に設定、事業期間に応じて割引率を設定等全面的に改定：
ワーキング議論、コンサルタント意見

5) 今後の検討課題

- ・今後の検討課題として残されているものを記載